

スポーツ山形



(財)山形県体育協会

第64回国民体育大会バスケットボール総合優勝 成年男女アベック優勝・少年女子3位



▼バスケットボール成年女子
菅野 恵子



▲バスケットボール少年女子



▼バスケットボール成年男子
伊藤 和哉

▲バスケットボール成年男子
中村 裕紀



(写真提供：山形新聞社)

「躍進する山形スポーツ」



財団法人山形県体育協会会長
(東北体育協会連合会会長)

金森 義弘

国体改革に伴い、出場権を懸けた戦いが激化している。みごと東北総体を勝ち抜き、第六十四回「トキメキ新潟国体」に出場した四八六名のチーム山形の選手たちに賛辞を贈りたい。

本県の国体成績は、平成十八年度の二十二位から急落し、昨年度は三十八位と低迷したが、本年度は、天皇杯順位二十七位と目標の二十位台を奪還した。中でも大会の最終をアベック優勝で飾ったバスケットボール競技の奮闘ぶりは快挙である。成年女子の中心となった山銀ライヤーズは、企業スポーツの環境が厳しさを増す中、山形商業高校や山形大学との交流を図り、続く世代のレベルアップにも貢献している。

県勢躍進の機運を維持していくためには、県スポーツ界が一体となって「スポーツで明るく元気な山形」を実現する取り組みが必要である。今年度、本格的に「山形県スポーツタレント発掘事業」が始動した。県体育協会が取り組んでいる三つの柱の中に、「世界で活躍する選手を育てること」「スポーツを通して青少年の健全育成を図ること」の二点があるが、タレント発掘事業と綿密に連携した山形独自の強化策を講じていきたい。また、東北体育協会連合会会長の立場として、東北地区全域の競技力向上についても十分視野に入れて考えたい。

設置率において全国トップレベルの総合型地域スポーツクラブの事業に「トップアスリート派遣事業」がある。パイオニア・レッドウィングスやモンテディオ山形などトップで活躍するチームの関係者による指導は好評を得ている。今後も生涯にわたる充実したスポーツ環境を提供していきたい。

来年二月にはバンクーバーオリンピックが開催される。本県トップアスリートが世界の大舞台で活躍してくれることを祈念する。

「向上無限」

横断幕・Tシャツ・ソックスを作成

競技団体の活躍を応援する「向上無限」横断幕を作成し、東北総体の前に各競技団体に贈呈しました。

「向上無限」とは、人間の可能性は無限にあり、高い志を持ち、常に上を目指して挑戦し続けることが大切という県体育協会が掲げるスローガンで、山形県スポーツ界が一体となって上昇気流をつかもうといったねらいです。

また、新潟国体の少年の部に出場する選手の活躍を期待して、「向上無限Tシャツ」を結団式で贈呈しました。山形県企業スポーツ振興協議会と賛助会員ミズノの協力をいただいて出来上がったものです。

さらに、国体に向けての練習会へ激励に向いた折、選手・スタッフに「向上無限ソックス」をお渡ししました。

国体に挑む士気とチーム山形としての誇りを高く持つてほしいと企画した「向上無限」の激励シリーズ。本国体で総合

二十七位という大躍進。次へのステップの足掛かりとなつてほしい。



向上無限
人間的な可能性は無限にあり、高い志を持ち、常に上を目指して挑戦し続けることが大切という県体育協会が掲げるスローガンで、山形県スポーツ界が一体となって上昇気流をつかもうといったねらいです。



山形県体育協会 殊勲賞・奨励賞受賞者(平成20年度功績後期)

殊 勲 賞

種 目	氏 名	所 属 (旧所属等)	主 な 成 績
(中学生)			
ス キ ー	深瀬 和志	山形市立第四中学校	3年 平成20年度全国中学校体育大会 スキー競技会 男子回転 優 勝
(高校生)			
スピードスケート	森永 一帆	県立山形中央高校	3年 第64回国民体育大会冬季大会 スケート競技会 スピードスケート 少年男子5,000m 優 勝
ス キ ー	結城 智裕	県立新庄北高校最上校	2年 第64回国民体育大会冬季大会 スキー競技会 ジャイアントスラローム 少年男子 大回転 優 勝
陸 上	高橋 優香	県立上山明新館高校	2年 2009日本ジュニア室内陸上競技・大阪大会 ジュニアの部 女子60m 優 勝
(一 般)			
ス キ ー	青木富美子	県立真室川高校教諭	第64回国民体育大会冬季大会 スキー競技会 クロスカントリー 成年女子B 5km クラシカル 優 勝
	矢口小百合	(財)山形県体育協会	第64回国民体育大会冬季大会 スキー競技会 クロスカントリー 成年女子A 5km クラシカル 優 勝
	山科 博史	丸光建設工業	第64回国民体育大会冬季大会 スキー競技会 アルペン大回転 成年男子A 優 勝

奨 励 賞

種 目	氏 名	所 属 (旧所属等)	主 な 成 績
(小学生)			
水 泳	大久保琳太郎	米沢市立北部小学校 (高島町コミュニティプール)	6年 第31回全国JOCジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会 11~12歳の部 50m平泳ぎ 短水路日本学童新記録 優 勝

平成21年度 スポーツ功労者 (県体協関係)

◎文部科学大臣表彰

(生涯スポーツ功労者)

小林 伸昭 県ボウリング連盟理事長
五十嵐嵯峨子 すえひろスポーツクラブ最高顧問
菅 義治 最上町スキー振興会名誉会長

(生涯スポーツ優良団体)

村山アスレチッククラブ(高橋 衛代表)
大蔵一球スポーツ少年団(佐藤慎一代表)
二井宿地区スポーツクラブ(菅野正章代表)

◎財日本体育協会表彰

(公認スポーツ指導者)

斉藤 亮子 水泳(指導員)
佐藤 薫 バドミントン(指導員)

(公認スポーツドクター)

新野 晃敏 医療法人社団仁鷹会新野医院

◎県教育功労者表彰

会田 忠秋 県水泳連盟会長
清野 伸昭 県なぎなた連盟会長

◎日本スポーツ少年団顕彰

(市町村スポーツ少年団表彰)

庄内町スポーツ少年団

(指導者表彰)

叶 敬一 (中山町) 森 俊悦 (村山市)
渋谷 幸一 (鶴岡市) 伊藤 金栄 (小国町)
原田 薫 (鶴岡市)

山形銀行女子バスケットボール部 ライヤーズ 大活躍！

今季、山形銀行女子バスケットボール部ライヤーズが大活躍している。

9月に開催された「第42回全日本実業団競技大会」においては、決勝戦で惜敗したものの堂々の準優勝。

10月上旬に開催された「第64回国民体育大会」においては、格上であるW1リーグの2チームを撃破して勝ち上がり、大変価値ある3年ぶり2度目の優勝。(成年男女アベック優勝)

10月下旬に開催された「第5回全日本社会人選手権大会」においては、見事優勝し2連覇を成し遂げた。
今後も、ライヤーズの活躍から目が離せない。 頑張れ山形銀行ライヤーズ！



頑張れ モンテディオ山形！

悲願のJ1昇格を果たしたモンテディオ山形が、現在、チーム一丸となって熱い戦いを繰り広げ、大健闘している。

「J1定着」を目標に、残りのゲームを全力で闘うモンテディオ山形に、みんなで熱い声援を送ろう。

絶対に負けられない1戦をモンテディオ山形と共にスタジアムで闘おう。

頑張れモンテディオ山形！



山形県スポーツタレント 発掘事業が始動！

～めざせ世界のアスリートYAMAGATAドリームキッズ～

「山形県スポーツタレント発掘事業」実行委員会設立総会が、今年の8月5日に県スポーツ会館において開催された。

「YAMAGATAドリームキッズ」と称し、本県からオリンピックや国際大会など世界を舞台に活躍するアスリートを計画的に見つけ、育てていこうといった取り組みである。

対象とするのは、運動能力の習得に適した「ゴールデンエイジ」(9～12歳)前の小学3、4年生で、県内全小学校に希望者を募っている。本年度は事業のPRや選手選考を行い、その後、JISS・JOCと提携しながら育成プログラムに沿った活動へと展開していく予定。

長期夏休みを利用した合宿形式の育成方法で、中学3年時まで指導を継続していくが、身体機能の向上を中心に人間性や社会性の醸成も図っていく。

才能あふれる子どもたちが、世界に羽ばたく夢を追いかけてみましょう！



大会夏・秋季大会



カヌースプリント少年男子カヤックフォア450m・200m
2冠を成し遂げた県選抜
右から細矢研人(寒河江高)、楨翔、桜田拳至、阿部輝(谷地高)

優 勝

◇バスケットボール	
成年男子	県選抜
成年女子	県選抜
◇カヌースプリント	
少年男子カヤックフォア450m	県選抜 (細矢研人、楨翔、桜田拳至、阿部輝)
少年女子カヤックペア450m	谷地高 (白田あさみ、有川千鶴)
少年男子カヤックフォア200m	県選抜 (細矢研人、楨翔、桜田拳至、阿部輝)

2 位

◇ボウリング	
成年女子個人	大石 奈緒 (マルキ)
◇陸 上	
少年男子B110m障害	江口 悠貴 (米沢三中)
成年男子200m	安孫子充裕 (筑波大)
◇カヌースプリント	
少年女子カヤックペア200m	谷地高 (白田あさみ、有川千鶴)
◇馬 術	
成年男子ダービー	秋葉 友勝 (湯の町乗馬ク)

3 位

◇水 泳(競泳)	
少年女子A200mバタフライ	渡辺 耶唯 (日大山形高)
少年女子B50m自由形	本間あかり (羽黒高)
◇ライフル射撃	
成年男子エアライフル立射	阿部 洋 (明大)
◇レスリング	
少年男子フリースタイル84kg級	渡辺 悠介 (山形商高)
◇カヌースプリント	
少年男子カナディアンペア450m	県選抜 (青木陽也、田宮賢士)
少年男子カナディアンシングル200m	後藤 健太 (寒河江高)
◇バスケットボール	
少年女子	山形商高

4 位

◇ライフル射撃	
少年女子ビームライフル立射	高橋 玲那 (南陽高)
◇弓 道	
成年女子遠的	県選抜 (上津裕子、須貝雪野、山本京子)
◇陸 上	
成年男子棒高跳び	渡辺 翔 (国士大大学院)
成年少年男子共通400mリレー	県選抜 (遠藤優希、安孫子充裕、大石唯、荒井恵太)

「向上無限」山形県選手団

ーバスケットボール日本一の快挙ー



山形県選手団総監督 佐藤 通隆

今年の国体目標を、900点20位台の確保に掲げ、強化を推進してきた。冬季スキー・スケートの活躍、本国体ではバスケットボール、ペア・フォアを中心としたカヌー、弓道、バレーボール、ボウリング、柔道の各団体競技に加えて個人競技の活躍が融合し、総得点で898.5点を獲得、男女総合成績27位、女子総合成績24位と大きく躍進する成果をあげた。

特に、バスケットボール競技は、成年男女のアベック優勝と少年女子の3位入賞で、べにばな国体時にも成し得なかった、競技別男女総合優勝と女子総合優勝を勝ち得た。まさに快挙といえる。また、カヌー競技も137点の高得点を獲得し、競技別男女総合3位、女子総合2位という輝かしい成績を挙げ本県躍進の原動力となった。弓道女子総合でも4位の健闘。

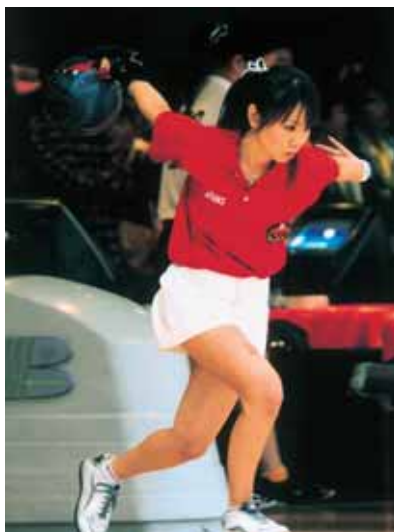
第64回国体、本県全選手団に言えることは、全ての競技の全ての選手が、一つでも多く勝ち進み、「チーム山形」に貢献しようという強い意欲に満ちていたことであり、全ての戦いに手応えを感じ、頼もしく思うと共に、誇りに感じた。

この意識の高さが、今大会躍進の基盤を成したものと認識しており、今後の飛躍に向けて、維持向上しなければならない大切なものと考えている。向上無限。

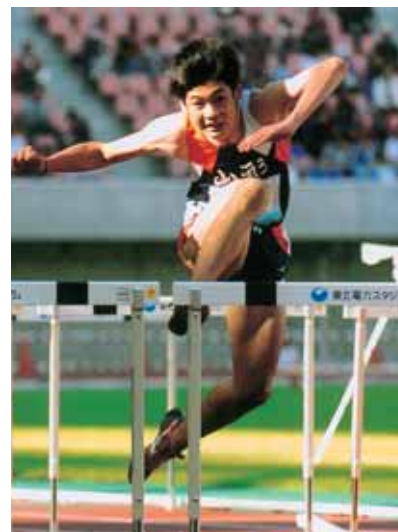
各競技団体、関係者の方々への熱心な強化取り組みに対し深甚なる敬意を表します。



陸上成年男子200m 安孫子充裕



ボウリング成年女子個人 大石奈緒



陸上少年男子B110m障害 江口悠貴



カヌースプリント少年女子カヤックペア450m 優勝
白田あさみ(右)、有川千鶴(谷地高)

天皇杯・皇后杯総合得点一覧表

■夏・秋季入賞者 45

順位	都道府県名	男女総合 (天皇杯)	順位	都道府県名	女子総合 (皇后杯)
1	新潟	2,426	1	新潟	1,054.5
2	東京	1,910	2	東京	1,001
3	大阪	1,767	3	大阪	863.5
4	埼玉	1,739.5	4	神奈川	782.5
5	神奈川	1,643	5	千葉	760
6	千葉	1,589.5	6	愛知	755.83
7	北海道	1,550.5	7	埼玉	746
8	愛知	1,530.33	8	岐阜	738
9	京都	1,507	9	北海道	730
10	兵庫	1,324.5	10	兵庫	696
11	広島	1,248.5	11	京都	645
12	岡山	1,238	12	大分	640.5
13	熊本	1,210	13	広島	629
14	大分	1,209	14	岡山	619
15	宮城	1,201.5	15	群馬	597
16	岐阜	1,194.5	16	長野	574
17	群馬	1,175.5	17	宮城	563
18	長野	1,147	18	静岡	559
19	福岡	1,136	19	熊本	541.5
20	長崎	1,034.33	20	山口	526.5
21	静岡	1,029	21	山梨	525
22	石川	1,020.5	22	茨城	524.33
23	茨城	995.33	23	長崎	523.33
24	香川	977	24	山形	523
25	鹿児島	932	25	福岡	522.5
26	栃木	908	26	鹿児島	520
27	山形	898.5	27	佐賀	516
28	山口	890.5	28	徳島	513
29	佐賀	888.5	29	石川	496.5
30	秋田	868	30	福井	492
31	山梨	859	31	滋賀	490
32	福井	837	32	香川	475.5
33	奈良	833	33	愛媛	446.5
34	青森	803.5	34	富山	442.5
35	福島	788	35	和歌山	441
36	愛媛	777	35	島根	441
37	富山	773	37	福島	421.5
38	滋賀	758	38	栃木	420.5
39	岩手	744.5	39	沖縄	418.5
40	徳島	739.5	40	鳥取	412
41	沖縄	736.5	41	秋田	408.5
42	島根	719.5	42	青森	381.5
43	和歌山	705	43	奈良	375.5
44	三重	691	44	岩手	371
45	高知	663.5	45	三重	363
46	宮崎	622.5	46	宮崎	341.5
47	鳥取	598.5	47	高知	327.5
合 計		50,837.99	合 計		26,154.99

トキめき新潟国体 第64回国民体育

5 位

◇水泳(競泳)

成年男子400m自由形

土岐 健一(日大)

◇レスリング

成年男子フリースタイル60kg級

須藤 学(日大)

少年男子グレコローマンスタイル60kg級

石井 克典(米沢工高)

成年男子グレコローマンスタイル55kg級

尾形 翼(日体大)

◇弓道

成年女子近的

県選抜
(上津裕子、須貝雪野、山本京子)

◇空手道

少年女子形

坂上 愛(新庄北高)

成年男子形

加藤 葵(帝京大)

◇バレーボール

成年女子6人制

パイオニアレッドウィングス

◇柔道

少年女子

山形中央高
(逸見祐夏、佐藤歩実、星川志穂)

◇ボクシング

少年男子ライトフライ級

山本 佑哉(日大山形高)

少年男子ミドル級

青木 大(日大山形高)

成年男子ライトフライ級

柏倉 圭吾(日大)

成年男子ウエルター級

八鍬 圭祐(日大)

6 位

◇馬術

成年男子標準障害飛越

二位関 堯(湯の町乗馬ク)

◇カヌースプリント

少年男子カナディアンペア200m

県選抜(青木陽也、田宮賢士)

7 位

◇水泳(競泳)

少年男子A200m背泳ぎ

山本 和幸(日大山形高)

少年女子A400m個人メドレー

渡辺 耶唯(日大山形高)

◇重量挙げ

成年男子53kg級スナッチ

末広 雄一(美乃館)

少年男子105kg超級スナッチ

早坂 昌一(庄内総合高)

◇ライフル射撃

少年男子エアライフル立射

木村 尚弥(南陽高)

◇陸上

少年男子共通800m

小野 拓也(上山明新館高)

8 位

◇重量挙げ

少年男子105kg超級ジャーク

早坂 昌一(庄内総合高)

◇ボウリング

成年女子団体(4人チーム)

県選抜
(大石奈緒、佐藤千尋、秋葉麻衣子、菅野洋子)

◇カヌースプリント

少年男子カナディアンシングル450m

後藤 健太(寒河江高)



現地結団式で氣勢を上げる県選手団



弓道成年女子県選抜



馬術成年男子ダービー 秋葉友勝

人物紹介

今年のMVP

山形リトルリーグ

会長 板垣 喜代志



鈴木選手

県内に唯一の中学一年生までの硬式野球チーム、山形リトルリーグの今年度MVPに選ばれた山形第一中学校一年の鈴木雄大君を紹介します。鈴木君は今年のチームの主将、そしてエースで四番打者として活躍しました。東北大会では、山形県代表の主将として出場しましたが、全国レベルにある東北勢の壁は大変厚く、前年度東北チャンピオンチームに一回戦惜敗しましたが、今回の受賞内容は年間打率五割三厘、ホームラン十五本の記録です。シアトルマリナーズのイチロー選手でも最高打率は三割八分七厘の記録ですので、打席の半分をヒットにする打率は非常に高いものです。鈴木君は今年の夏に卒団し、また一つ上の中学生硬式野球に進んでおります。お父さんも高校野球球児であり、鈴木君の兄二人も高校球児OB、そして活躍中です。お兄さん二人も山形リトルリーグOBですが、この記録には達しておらず鈴木雄大君が山形高校球児、そして甲子園で活躍することを関係者は大いに期待しております。



山形リトルリーグは小・中学生一貫体制を確立し、高校野球へつなげる活動が続けて今年で二十六年になりますが、県内に一チームだけのリトルリーグは寂しいものがあります。山形市以外の地域でのチーム作りを心より期待、歓迎いたします。

市町村体育協会だより

生涯スポーツの普及浸透を目指して

西川町体育協会

会長 奥山 秀征

本協会は、昭和二十九年十月に設立され、これまで本町のスポーツ振興を図るとともに、町が進めているスポーツ事業と連携し各種事業を実施してまいりました。現在、競技団体十二、地区団体十三の二十五団体が加盟しており、定例の会議等を開催し、加盟団体相互の事業調整や情報交換を行っております。



そのようななかにあつて、「心身体力づくり」を基に、生涯スポーツⅡ町民一スポーツ運動を推進すること、スポーツ人口の底辺拡大を図り、スポーツを通じた元気なまちづくりを目指してきました。主な事業として、各種スポーツ大会をはじめ、優秀選手の表彰、全国大会出場等への激励金の交付、スポーツ少年団、スポーツサークル等の育成などが挙げられます。

近年、本町においても、急速な少子高齢の進展による人口の減少、個人志向の多様化など地域の社会環境の変化が顕著であり、こうした背景のなか、だれもが気軽に生活のなかにスポーツを取り入れ、健康な心と体を築くことができる環境整備に尚一層努めていかなければならないと考えています。昨年度より本協会を中心に、スポーツ少年団やその他各種団体と協議を重ね、「総合型地域スポーツクラブ」設立の検討を始めています。これからも、西川町らしいスポーツ環境の方向性を探り、地域を土台としたスポーツの輪が広げられるよう積極的に取り組んでいきます。

競技団体ニュース

一貫指導による選手育成を目指す

山形県ホッケー協会

理事長 四柳 徹信

昭和五十年十月に本協会が設立され、昭和五十九年に川西町ホッケー協会が設立、平成十九年の米沢市ホッケー協会設立により、二つの市町に協会があります。県立置賜農業高等学校、県立米沢商業高等学校、県立米沢興譲館高等学校、椎野学園米沢中央高等学校の三校がホッケー部活動をしております。中学校は、川西町の第一中学校、第二中学校、玉庭中学校の三校です。小松ホッケースポーツ少年団、米沢ホッケースポーツ少年団の二つが活動しております。川西町に天然芝のホッケー競技場があり、拠点にして大会を行っております。さらに、川西町ホッケーを愛する会の方々に協力、ご支援を頂いております。

北京オリンピックに日本女子が出場の時、選拔選手に、米沢商業高校出身の諏訪ひかり選手が選ばれました。男子では、代表選手に、置賜農業高校出身の小野知則選手が選ばれ、予選に出場し、今年も日本代表に選ばれ、活躍を期待しているところです。日本代表選手を育てて行きたいと思っておりますが、現状は、人工芝の競技となり、なかなか上位の成績を残す事が出来ずにおり、更に選手の減少もあり、一貫指導による、選手の強化、指導者を育成し、技術の向上を図り、全国大会の上位を目指して行きたい。今後とも、会員、関係者の皆様には、尚一層のご指導ご支援ご協力をお願い申し上げます。



「体操王国米沢」を礎に

体操指導員 須藤 正彦

大学の恩師に「スーパードクターも大切だが、町医者も必要だ。」という言葉を受け、山形県に戻って体操の指導をはじめ、四半世紀が過ぎました。

当時は、べにばな国体に向け、各種目とも競技力向上が計画的になされた時代でした。全県を挙げて地元選手の活躍を期待し、指導に明け暮れました。米沢の練習環境は、インターハイや東日本インカレなどを開催したり、国際大会でも活躍する選手が育つたりした時とは異なり、練習器具も無く、庄内や福島へ練習場所を求めて移動していました。この状況は今も続いており、選手の負担となっています。

現在は、米沢二中を練習の拠点校とし、全市内中学生および高校生が合同で練習に励んでいます。スポーツ少年団の小学生も合同練習に参加し、競技力向上に努めています。中学生の殆どは初心者ですが、ジュニアのクラブチームの選手に負けまいと、地道にがんばる姿があります。ここ数年は、県内でも上位に入る選手が育っており、日々のがんばりが結果として残るようになったことに加え、県内でも競技人口が激減している中、僅かながら増加の傾向にあることが指導の大きな励みです。

近年、美しい演技を求めながらも高度な技が要求されるようになり、体操は、より専門的な指導者が求められています。競技経験者が新たな世代を育てる人材として地元で根付くよう、若手指導者の育成も選手強化に併せ、課題として取り組んでいます。

様々な課題を乗り越え、諸先輩が築いた礎をもとに、多くの選手が「できた喜び」を積み重ね、いつの日か世界に羽ばたくことを夢みて、末永く子ども達や体操の仲間とかかわっていきたいと思います。



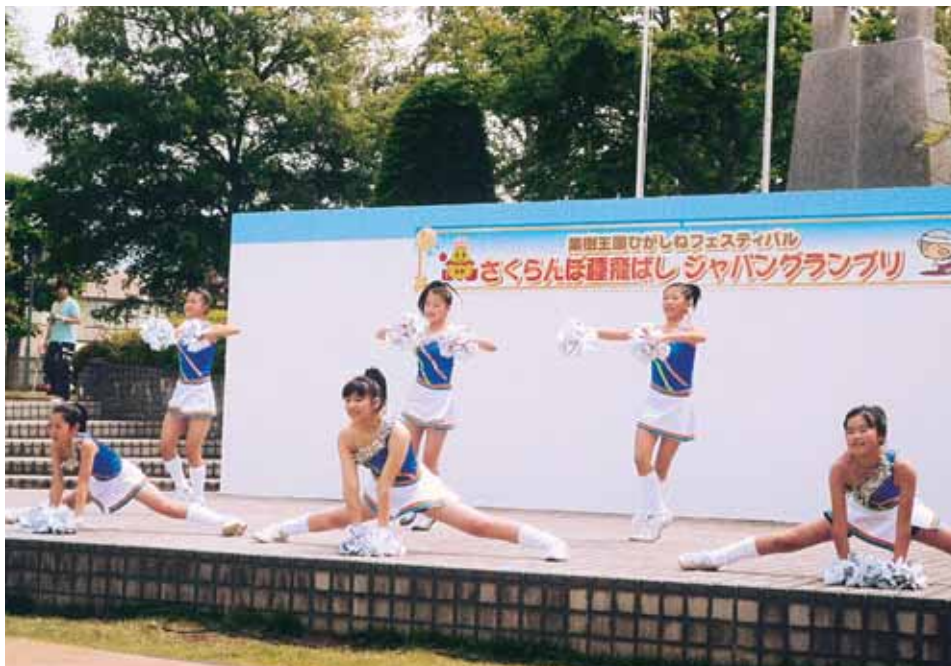
誰でも・いつでも・どこでも・いつまでも

マイ・スポーツひがしね
クラブマネジャー 小野 薫

当クラブは平成十九年二月に設立され、同年四月から活動を行っています。今年で三年目になりますが、行政・市体育協会のバックアップのもとに順調に経過しています。現在約三〇〇名の会員の方が十六教室の年間コース、五教室の期間限定コースに参加しています。人気教室は、ソフトエアロビクス、ジュニアチアダンスで、各約四〇名います。年間教室は、各教室週二回開催されていますが、複数の教室に参加されている方も数名います。当クラブの特徴は、全国に先駆けて行われた「託児付き教室」があることです。

設立準備期間中、全国にNHKで紹介されています。二教室に市内のファミリーサポーターセンター会員の協力により実施されています。料金は有料ですが、格安設定になっています。会員の方からは、友

達が増えてよかった、体の調子が良くなった、楽しい等の声を聞き、運営側としてクラブを立ち上げて本当に良かったと思っています。「市民一人一スポーツ」が東根市のスポーツ振興であり、当クラブの設立も目的のひとつです。今後、内容の充実を図り輪を広げていきたいと思っています。



YAMAGATA AMATEUR SPORTS ASSOCIATION

財団法人 山形県体育協会



スポーツを通して、
健康で明るく活力に満ちた
山形県 づくりに貢献します

- 1 みんながスポーツに親しめる環境をつくります
- 2 世界で活躍する選手を育成します
- 3 スポーツ活動を通して、青少年の健全育成に取り組みます

ネット・山形	通商商事株式会社	社団法人 山形県建設業協会	(社)山形県銀行協会	Maruwi Amusement	(有)オザワ徽章	(有)エマタ自動車
かみのやすみ	神蔵王堂	サデサント仙台支店	山形グランドホテル	ミズノ株式会社 仙台営業所	asics 新アシックス 東北支社	ITOKI 秋田・仙台支店 山形営業所
MECOM 株式会社	東京海上日動	Senoh	X 天竺木工	森協栄給食	JTB 山形支店	ゆうき整形外科
GTSUKA 大塚製薬	東北ハイオシア 株式会社	桂小澤商店	Obayashi	森県庁食堂	山形環境 業正	RICOH リコー東北株式会社
(資)イグニス	たんの文具	葉山館	エイムカイツ	トップアーク株式会社	藤田印刷	株式会社かわでん
東電電気	YONEX	山形パソコンサポート	(有)仕出し・きじま	ヤマコーリゾート	山交観光	山形県スポーツ用品 小島産業協同組合

山形県体育協会のホームページの充実を図り、山形県スポーツの情報発信に力を入れています。今回御協力をいただいている賛助会員の方々のバナーを作製しました。御活用下さい。今後更なる充実を図り、情報発信基地にしていきたいと思ひます。

東京圏東部でアパートを借りる際は当社へどうぞ！

東京駅から40分、総武線東船橋駅前 (有)東船橋不動産
千葉県船橋市・創業32年

大江町出身
鈴木 隆

TEL 047-424-7200 <http://www.chintai-center.co.jp> 水・木曜定休

より便利に
より安心に!!

保険内容を
改定しました

傷害保険
賠償責任保険
共済見舞金

スポーツ安全保険

Web [スポーツ安全協会](#) 検索

インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

財団法人 スポーツ安全協会

山形県支部

(山形県体育協会内)

〒990-2412 山形市松山2丁目11番30号 TEL 023-642-8321 電話受付時間 午前8時～午後5時(土、日、祝日を除く)

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

●資料請求は、インターネットより受付しております。

<http://www.sportsanzen.org>

(財団法人)
東京海上日動火災保険株式会社 公認第2部第1課 TEL 03-5223-2607 (受付: 00-07:00)
(共同火災保険会社(平成21年4月7日)) ※ 手付金・家賃などの場合が異なります。
あいおい損害 東京火災 損害ジャパン 大和火災 東京海上日動
日新火災 ニッセイ火災 日本興業損害 富士火災 三井住友海上
平成20年12月作成 1310-08-091